

日本生体医工学会 平成18年度 第1回理事会議事録

平成18年5月14日 16~18時 於 福岡国際会議場 4階小会議室 (福岡市)

出席者

会長 堀 正二

副会長 菊地 眞 辻岡 克彦

理事 赤澤 堅造 石原 謙 稲田 紘 上野 照剛 梶谷 文彦

楠岡 英雄 佐久間一郎 砂川 賢二 千田 彰一 田村 俊世

千原 國宏 土肥 健純 仁田 新一 林 紘三郎 福井 康裕

山越 憲一 山本 克之

理事候補者

安藤 譲二 伊関 洋 山口 隆美 佐藤 正明 三田村好矩

地方支部長

井街 宏 岩田 彰 村上 輝夫

幹事 近藤 寛也 守本 祐司

欠席者

監事 北畠 顕、星宮 望

C E 小野 哲章

地方支部長

浜田 良機 高田 重男

1 総務(辻岡)理事会成立の件

1.1 開会時点での出席20名 委任状0通 理事会成立が確認された。

2 審 総務(辻岡)前回議事録承認の件

2.1 前回議事録の承認が行われた。資料18-1-2

3 審・回覧 会員 会員入退会状況の件

3.1 入会審査対象者 正会員13名 準会員8名、退会 正会員20名 準会員3名 維持会員1社 顧問1名、会員資格等変更 正会員(正準)1名。全入退会、資格変更が承認され、正会員(国内)2554名、正会員(海外)42名、準会員(国内)381名、準会員(海外)1名、維持会員20社30口 顧問12名、名誉会員43名となった。資料18-1-3

4 報・審 ME技術教育(稲田)

4.1 技術教育委員会の新メンバー案が提示され承認された。新委員は1名(慶応大学 長谷川 真氏)。

- 4.2 平成 17 年度技術教育委員会決算書が提示され、収入 ¥ 72,904,394、支出 ¥ 62,929,961、次期繰越金 ¥ 21,568,252 であること等が報告され、承認された。
- 4.3 CE ネットワークとの委託契約・覚書に関して。受験者数増加に伴う委託費の再取り決め、ならびに委託費を 3 期に分納すること、等の説明があり、承認された。なお、委託内容の細目を書面に残すように、との提案があり、承認された。資料 18-1-4
- 5 報・審 選奨（仁田）
- 5.1 選奨各賞受賞最終候補者が以下のように推薦され承認された（敬称略）。資料 18-1-6
- ・ 平成 17 年度 論文賞・坂本賞： 論文名 テラヘルツ電磁波パルスを用いた非接触・局所皮膚水分量測定の開発、 著者 安井武史、東野義之、荒木勉
  - ・ 平成 17 年度 研究奨励賞 佐藤克也（講演番号 S3-4）
  - ・ 平成 17 年度 研究奨励賞 遠藤怜子（講演番号 PJ1-7-1）
  - ・ 平成 17 年度 新技術開発賞 該当なし
  - ・ 平成 17 年度 荻野賞 石原美弥
- 6 報 企画（菊地）Asia-Pacific Traveling Fellowship に関して
- 6.1 IFBME より、1 名あたり \$3000 供出される旨が説明された。本プログラムを生体医工学会が正式に支援していくことで承認された。なお、実質的な費用負担に関しては次回理事会で討議することが確認された。
- 7 報 （堀）マイクロマシン連合組織解散について
- 7.1 マイクロマシン連合組織が解散し、MEMS 協議会としてあらたに発足する旨が報告された。資料 18-1-8
- 8 報 （堀）文部科学省からの緊急調査依頼について
- 8.1 一部の公益法人の不祥事に端を発し、文部科学省から、文部科学省出身者の公益法人理事への就任状況に係る調査依頼があったことが説明され、本学会理事のうち 6 名が該当し、その人数を後日提出することが確認された。資料 18-1-9
- 9 審 広報（山本）学会ホームページの運用と経費について
- 9.1 以下の要望がなされ、承認された。資料 18-1-5 および「学会ホームページの運用と経費について」
- ・ 今後の学会ホームページの管理運用を本学会事務局に委託すること
  - ・ 年 60 万円の委託費を計上すること
  - ・ ホームページ刷新にかかる初期費用 81 万円を計上すること（本年度限り）
- 10 報・審 財務（福井）平成 17 年度収支決算および平成 18 年度収支予算案の件
- 10.1 平成 17 年度収支決算に関しては次のことが報告され承認された。資料「平成 18 年度通常総会資料」
- ・ 収入は、事業収入は伸びているものの会員数減少に伴い会費収入は低下し、合計は ¥171,960,385 であった。
  - ・ 支出は、大会関係費等が当初見積もり予想より低かったために、合計

¥110,629,852 であった。

- ・ 結果、収支として繰り越し（¥61,330,533）が生じた。
- ・ 負債および正味財産合計は、¥168,342,042 であった。

会計事務所より以下のような指摘・指導があったことが報告された。

謝金に対して源泉徴収をかけること。

会誌の発行部数が多すぎるのではないか（一号当たり 3300 部、残~400 部）。

会員数減少に関して策を講じること。

理事会で議論され、その結果、 に関しては遵守することで承認された。 に関しては、年度途中の入会者に対しておこなっていたバックナンバー配布を中止し、発行部数を 3000 部程度に減版することで承認された。また、 に関しては、維持会員のリスト化、新しい維持会員を積極的に獲得していくこと、また、正会員増加の施策として、医工学連携に関する委員会で戦略的な目標を設定し、若手研究者の獲得を目指していくこと等が承認された。

10.2 平成 18 年度収支予算案に関しては次のことが報告され承認された。資料「平成 18 年度 通常総会資料」

- ・ 収支予算案は基本的に前年度と同じであること。
- ・ 学会ホームページ管理費を 60 万円（前年度より 10 万円増）にすること。
- ・ 役員交通費を計上すること。

なお、以下の支出費目を計上することに関して、試験関係収入よりまかなうことで承認された。

- ・ Asia-Pacific Traveling Fellowship（金額未定）
- ・ ホームページ刷新にかかる初期費用 81 万円
- ・ ME フォーラム補助金 40 万円

さらに、科学新聞賞に関してここ数年未収となっていることが指摘され、状況確認の上、以前の状態に是正していく方針が承認された（16.2 参照）。

## 11 審 総務（辻岡）次期副会長選出の件

11.1 平成 18・19 年度会長として土肥健純（敬称略以下同じ）が選任されたのを受け、次期副会長ならびに平成 18・19 年度監事が以下のように選出され承認された。資料「別添資料」

副会長 楠岡 英雄、佐久間一郎

平成 18・19 年度新監事 山口 隆美

## 12 審 （堀）名誉会員推薦の件

12.1 新名誉会員 4 名（赤塚孝雄、鈴木良次、竹越囊、仁田新一）が推薦され承認された。資料「別添資料」

## 13 報 （堀）日本医学会評議員、連絡員、用語委員選出について

13.1 日本医学会評議員として土肥健純（敬称略以下同じ）、連絡員として佐久間一郎、用語委員として楠岡英雄が推薦され、承認された。資料 18-1-13

- 14 報 第 45 回大会（砂川）準備状況報告
  - 14.1 大会概要・プログラムが報告された。資料 18-1-14
- 15 報 第 46 回大会（佐藤）準備状況報告
  - 15.1 第 46 回日本生体医工学会大会は、平成 19 年 4 月 25 日から 27 日の間、仙台国際センターにおいて開催される旨が報告された。資料「平成 18 年度 通常総会資料」
- 16 その他
  - 16.1 協賛等の状況 資料回覧
  - 16.2 科学新聞社の件 平成 14 年度から未納になっており、継続して支援いただけるよう、選管委員長と堀会長とで継続交渉をすることで承認された。
  - 16.3 本年 8 - 9 月の IFBME World Congress の総会において、日本代表団として、土肥健純、佐久間一郎、辻岡克彦、佐藤俊輔（不都合の際は、辻岡国際委員会委員長が他を指名）の 4 名が出席することで承認された。

## 資料

### 資料番号なし資料

- 「学会ホームページの運用と経費について」
- 「平成 18 年度 通常総会資料」
- 「別添資料」

- 18-1-2 平成 17 年度第 5 回理事会
- 18-1-3 平成 18 年度第 1 回理事会入退会審査対象者
- 18-1-4 ME 技術教育委員会(案)
- 18-1-5 ホームページ制作・運営費用に関する見積書
- 18-1-6 選奨候補要旨
- 18-1-8 マイクロマシン連合組織解散についてのお伺い
- 18-1-9 文部科学省出身者の公益法人理事への就任状況に係る緊急調査依頼について
- 18-1-13 日本医学会評議員の選出について
- 18-1-14 第 45 回日本生体医工学会開催概要報告